

# 学習院女子大学主催シンポジウム「<やさしい日本語>と多文化共生」 ブース発表「書き換え支援システム(公文書作成支援システム)」

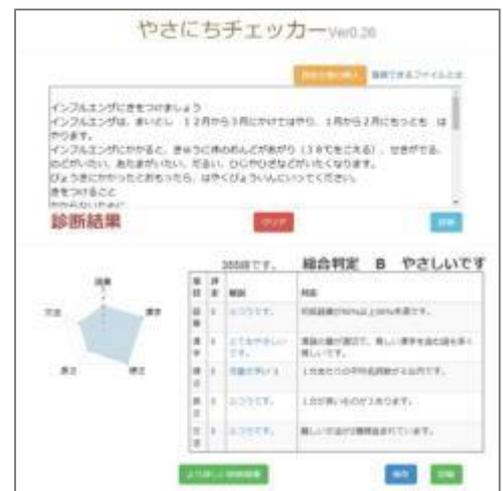
講演者：フリープログラマー 中島 明則 氏

一橋大学を中心に構成されている「やさしい日本語」科研グループによって、横浜市との協働で開発された、公文書を「やさしい日本語」に書き換える支援システムを、一般向けに改修し、「公文書作成支援システム」(<http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/sakusei/>)として、科研のホームページで公開している。行政用語を中心に、難しい用語とやさしい用語をペアにした辞書を構築しており、入力(もしくはアップロード)された文章のうち、辞書に登録されている単語には赤色がつくので、クリックして変換候補として表示される「やさしい日本語」に置き換えていくという使い方。



機能としては全文の即時置換も可能だが、複数の候補がある場合や、文脈によって適切な用語が異なる場合もあるので、基本は単語1つずつ人間の判断で候補を選択する形式となっている。言い換えの例としては「受給している」→「もらっている」、「課税」→「税をとる」など。文章作成ではなく、あくまで単語単位の支援システムのため、長すぎる文章を分割するなどの機能はない。

また診断システム「やさしにちチェッカー」は、入力された文章が「やさしい日本語」になっているかどうか、語彙、漢字の数、硬さ(名詞の密度)、長さ、文法の5つの視点を1~5の段階で評価したうえで、A~Eで総合判定をするものである。単語だけでなく助動詞や接続詞、敬語も診断対象となる。また、5つの視点ごとに、どこがマイナスと評価されたのが等し色で表示される。研究者向けにはさらに詳しく指標と評点を表示できる。



「やさしい日本語」科研 <http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi/>

「公文書作成支援システム」 <http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/sakusei/>

(平成29年度作成)

## 問い合わせ先

「<やさしい日本語>と多文化共生」シンポジウム事務局  
yasanichi.symposium@gmail.com